

私たちは、これからの社会を
どう捉えていくべきか――。

価値観が大きくシフトした今、
「繊維」と共に歩んできた私たちもまた、
イノベーションが求められています。

持続可能な世の中のために、
私たちができることを一步一步。

ともに創造し、讃えあい、
次の世界を形づくる
実りある社会の実現を目指します。

YAGI

Heritage to the future

証券コード：7460

この先の未来も、人と社会に寄り添い続ける。



株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、不安定な国際情勢などから先行きが不透明な外部環境が続く中、繊維専門商社として持続可能な成長と企業価値の向上に取り組んでおります。国内市場が人口減少の影響などで縮小していることから、グローバル市場への展開を積極的に推進しており、アジアや欧米などの開拓に注力し、地域ごとの特性やニーズに対応した商品・サービスを提供すべく、様々な取り組みを進めております。

さて、中期経営計画2026「Heritage to the future」の折り返し地点でもある当中間連結会計期間の業績は、前年同期比で減収増益となりました。この結果を踏まえて通期連結業績予想について、売上高は830億円に下方修正としましたが、グループ経営の深耕などによる効率的な事業運営や不採算事業の整理、高付加価値商品の提供などを行っていき、経常利益を35億円に上方修正しました。

こうした収益構造の改善などにより、中期経営計画の最終年度に掲げていた経常利益目標を1年前倒しで達成できる見込みであることから、より高い成長を目指し、経常利益36億円と新たな目標を設定いたしました。

また、株主の皆様への利益還元につきましては、利益の増加見込みに伴い、期末配当を前回予想より10円増配の78円とさせていただき予定といたしました。株主の皆様への利益還元につきましては経営の最重要政策の一つとして位置付けており、今後も長期的な視野で安定した利益還元と、経営基盤強化のための内部留保充実をバランスよく行っていき、長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長執行役員 八木隆夫

2024年11月

配当について

配当につきましては、長期的な視野で安定した利益還元と、経営基盤の強化に必要な内部留保をバランスよく行っていくことを基本方針としています。当基本方針と通期連結業績予想の修正等を勘案し、当期末配当金は1株につき78円を予定しております。

中間期財務ハイライト(連結)

詳しくは当社ウェブサイトをご覧ください
<https://www.yaginet.co.jp/ir/>

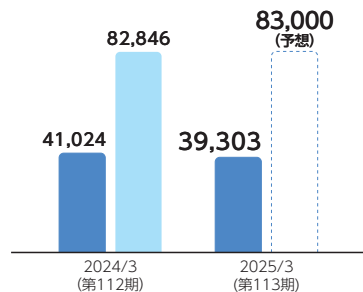
ヤギIR

検索



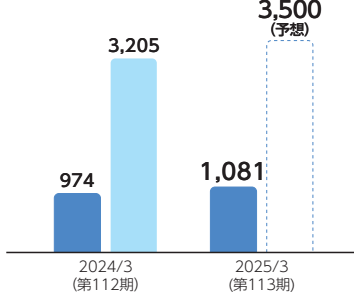
売上高

■ 中間期(累計) ■ 通期 □ 通期予想
(百万円)



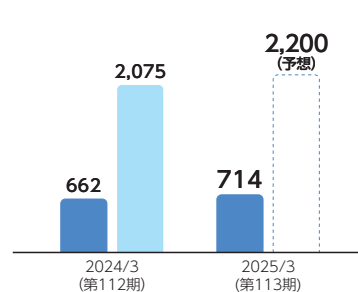
経常利益

■ 中間期(累計) ■ 通期 □ 通期予想
(百万円)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

■ 中間期(累計) ■ 通期 □ 通期予想
(百万円)



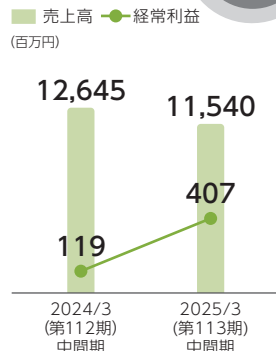
セグメント別の概況

📄 マテリアル事業



国内産地の冷え込みなどから、国内製品などが苦戦し需要が減少いたしました。こうした中、天然繊維については、引き続き国内産地の商況が低調で需要が減退したことなどに伴う売上の減少があったものの、期首から商品在庫水準の適正化に取り組んでいる効果が出ております。合成繊維については、車両関連素材などの売上が減少しましたが、サステナブル素材等の差別化糸を中心とした商材の海外輸出が堅調に推移するなど利益に貢献しました。また、生地については、海外販売が増加したことや一部商材のコスト増加分の価格転嫁などにより増益となりました。

この結果、売上高は11,540百万円(前年同期比8.7%減)、セグメント利益(経常利益)は407百万円(前年同期比241.6%増)となりました。



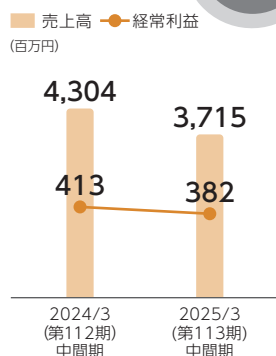
28.8%

🏠 ライフスタイル事業



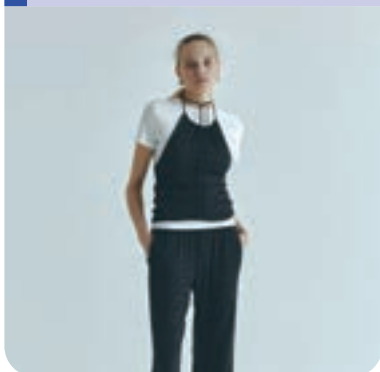
主力であるダストコントロール商材については、生産調整の影響が継続しており、販売が低調でした。一方で、産業資材については、新規受注の獲得など、一定の成果を出すことができました。また、タオルや化粧用商材については、売上原価率の改善などにより、利益に貢献いたしました。

この結果、売上高は3,715百万円(前年同期比13.7%減)、セグメント利益(経常利益)は382百万円(前年同期比7.4%減)となりました。



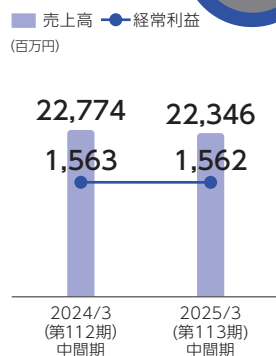
9.3%

👕 アパレル事業



インバウンド需要や賃上げなどが国内需要を下支えし、ファッション市場における消費意欲は底堅く推移しました。こうした中、主力であるOEM事業については、主要な取引先への提案や関係の強化を進め、また、収益性向上に向けて不採算事業の整理などを進めて効率化を図りましたが、前年同期がコロナ特需で好調だったこともあり、売上高については減収となりました。一方で、円安の影響が長引いており輸入コストの増加など利益率の低下があったものの、物流経費などのコスト削減に取り組んでおり、利益については前年同期と同程度で着地しました。

この結果、売上高は22,346百万円(前年同期比1.9%減)、セグメント利益(経常利益)は1,562百万円(前年同期比0.1%減)となりました。



55.7%

🏪 ブランド・リテール事業



円安の影響などによるインバウンド需要や気温の上昇に伴い、夏物商材は順調に推移しました。一方で、気温が中々下がらず秋冬物商材の初速が鈍くなっております。こうした中、主力であるブランド事業については、春夏商品の強化に取り組んだことに加え、卸売りが好調に推移しており、売上高については増収となりました。

この結果、売上高は2,099百万円(前年同期比5.6%増)、セグメント損失(経常損失)は782百万円(前年同期は595百万円のセグメント損失)となりました。



5.2%

TOPICS

ヤギグループ総合展示会を開催

本年4月25日(木)・26日(金)、東京・ウィズホール原宿にて、当社グループ初となる総合展示会を開催いたしました。

この展示会のテーマは、「かけはし」(BRIDGE)。130年続いてきた当社のこれまでの歩みと未来、守るべき伝統と技術革新、アナログとデジタル、日本と世界を繋ぐ『架け橋』となり、未来の地球のため、次世代を担う子供達のために、次の100年に向けた第1歩を踏み出す、というコンセプトで開催した総合展示会でした。現中期経営計画で掲げている「Heritage to the future」のスローガンのもと「サステナブル」「DX(デジタル)」「グローバル」をキーワードに据え、当社グループによる環境配慮型の商材・取り組みを中心に展示を行い、グループ横断の『総合力』と『ヤギが描くファッションの未来』を表現し、多くの方にご来場いただきました。



ヤギグループの新拠点を アメリカ・ニューヨークに開設

現在、当社は中期経営計画 2026 「Heritage to the future」を推し進めており、中でも最重要課題であるグローバル戦略に特に注力し、世界各地で様々な活動をスタートしています。

本年7月にアメリカ・ニューヨーク州に新拠点となるオフィスを設置しました。このオフィスを通じて、当社の得意とする世界的に評価の高い日本製のジャージ生地を中心にアメリカマーケットでの販売拡大を目指しております。

ニューヨークはアメリカの中でも移民比率が高く、人種・文化の多様性に富んだ街です。その地に拠点を構えることで、多様な価値観をもつ人々のニーズを的確に捉えたビジネスを推進し、当社ビジネスのグローバル展開を後押しする役割を目指します。



TATRASが韓国 現代百貨店で 期間限定店舗をオープン

当社グループ会社の株式会社WEAVALは、基幹ブランドである「TATRAS」のグローバル展開に向けた取り組みとして、韓国を代表する百貨店である「現代百貨店 狎鷗亭本店」にて、TATRASのAW24コレクションを紹介する期間限定店舗をオープンしています。ブランドの定番ダウンから新作ダウン、ポアシリーズなど幅広いアイテムが展開されています。

■ 場 所：韓国 現代百貨店 狎鷗亭本店 B2フロア

■ 期 間：2024年9月13日(金)～2024年12月末(予定)

当社グループでは、今後もこのようなグローバルビジネス拡大に向けた取り組みを積極的に進めてまいります。



現代百貨店 狎鷗亭本店 公式Webサイト

<https://www.ehyundai.com/DP/lang/jp/DP000001.do?branchCd=B00121000>

当社と類設計室が協働で 「探究学習×事業」の活動を実施

当社の部門横断メンバーによるPJにて、6月から9月までの4か月にかけて(株)類設計室の教育事業部の全日制スクール「類学舎」とアミアズ(株)との3社コラボレーションによる探究学習を実施しました。

「類学舎」は2019年の設立から類塾による「探求科」「実現塾」「仕事塾」「野外体験活動教室」「わかさ合宿」の事業蓄積を経て、仕事・探求・異年齢を柱にした全日制スクールです。当社の考えるSDGs活動と、「人との繋がりの中で学び、気づき、形にする」方針の類学舎がPJとして協働、当社のパートナー企業であるアミアズ(株)の協力も得てこの企画が実現しました。

生徒の皆様が考える「よりよい未来」を、当社のSDGs関連事業を紹介しながら、アイデアの企画、そして実行に向けた提案へのサポート活動を行いました。



類学舎 公式Webサイト

<https://ruigakusha.rui.ne.jp/lp/>

「健康経営優良法人 2024」に2年連続で認定

当社は、経済産業省及び日本健康会議が実施する健康経営優良法人認定制度において「健康経営優良法人 2024」(大規模法人部門)に認定されました。当社が健康経営優良法人に認定されるのは2年連続となります。

健康経営優良法人認定制度とは、経済産業省が地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。当社は昨年引き続き、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人として評価を受けました。

当社は今後も「健康経営」を重要な経営課題と捉え、従業員やその家族の健康増進により一層努めるとともに、事業を通じて地域と社会に貢献してまいります。

※健康経営は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。



会社概要

(2024年9月30日現在)

会社の概要

| | |
|--------|--|
| 社名 | 株式会社 ヤギ |
| 英文社名 | YAGI & CO.,LTD. |
| 創業 | 1893年(明治26年)10月16日 |
| 設立 | 1918年(大正7年)4月28日 |
| 資本金 | 1,088百万円 |
| 主な事業内容 | 綿化繊糸、合繊糸、綿化繊織物、合繊織物、ニット生地及び衣料品等の各種繊維二次製品の国内販売ならびに輸出入 |
| 主要な事業所 | (国内) 大阪本社 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号 東京本社 東京都中央区日本橋小網町18番15号 支店 福井(福井市) 出張所 名古屋(名古屋市) 営業所 和歌山(和歌山市) (海外) 駐在員事務所 上海(中国) ホーチミン(ベトナム) ハノイ(ベトナム) ダッカ(バングラデシュ) |

役員一覧 (2024年9月30日現在)

| | | |
|-------|-----------|------|
| 代表取締役 | 社長執行役員 | 八木隆夫 |
| 取締役 | 専務執行役員 | 山岡一郎 |
| 取締役 | 常務執行役員 | 三橋大作 |
| 取締役 | 常務執行役員 | 藤本貴史 |
| 取締役 | 上席執行役員 | 八木靖之 |
| 取締役 | | 玉巻裕章 |
| 取締役 | (常勤監査等委員) | 山本浩志 |
| 取締役 | (監査等委員) | 池田佳史 |
| 取締役 | (監査等委員) | 熊谷弘 |
| 取締役 | (監査等委員) | 小山茂和 |

(注)取締役玉巻裕章、池田佳史、熊谷弘及び小山茂和は、社外取締役であります。

(注)本報告書中の記載金額及び株式数は表示単位未満の端数を切り捨てております。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日までの1年

定時株主総会の
基準日 3月31日

剰余金の配当の
基準日 期末配当 3月31日
中間配当を行うときは9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店でっております。

公告の方法 電子公告とし、当社ウェブサイトに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
ウェブサイト
<https://www.yaginet.co.jp/ir/announce.html>

株式の情報

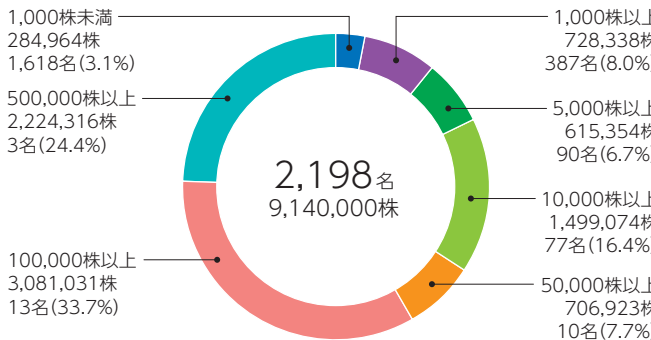
(2024年9月30日現在)

| | |
|------------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 45,568,000株 |
| 発行済株式の総数 | 9,140,000株 |
| 株主数 | 2,198名 |
| 大株主(上位10名) | |

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|--------------------|---------|----------|
| ヤギ共栄会 | 975(千株) | 11.40(%) |
| 清原 達郎 | 666 | 7.79 |
| 株式会社みずほ銀行 | 410 | 4.80 |
| 株式会社三井住友銀行 | 380 | 4.44 |
| 立花証券株式会社 | 310 | 3.63 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 305 | 3.56 |
| 八木 隆夫 | 270 | 3.16 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 260 | 3.05 |
| 第一生命保険株式会社 | 250 | 2.92 |
| クロスプラス株式会社 | 237 | 2.77 |

(注)持株比率は自己株式(582,216株)を控除して計算しております。なお、当社は「従業員向け株式交付信託(RS信託)」制度を導入しており、本制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託口)が所有する当社株式173,200株は、自己株式に含めておりません。

所有株数別分布状況



【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

【未払配当金の支払いについて】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。